

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2024年12月下旬刊行

国体とデモクラシー

—密造される共和主義—

住友陽文 著

四六判・ハードカバー・340ページ 本体価格 3,400円

天皇と国民とは、法や制度ではなく、情誼的・人格的・道徳的にこそ結合しているのだという戦前からの「君民一体」論・「共和制的理念」は日本国憲法に継承されて戦後日本の基底を支えていった。戦前の国体の一部は戦後の憲法体制の前提となっていたのである。

(目次)

序章

第一章 明治憲法体制のなかの天皇制—主権と臣民

第二章 無政府主義と国体—「動物的自由」から「道徳的自由」へ

第三章 デモクラシーによる立憲主義—国体とデモクラシー

第四章 立憲主義を支える感化空間—個人の中の立憲主義

第五章 君民協同のデモクラシー—君主制を媒介とする共和主義的志向

第六章 国民協同の国家とその基底としての天皇制—中曾根康弘の天皇論と国民主権論

終章

〈著者紹介〉住友陽文（すみとも あきふみ）：大阪公立大学教授

～版元から～ 戦後の「人間宣言」によって、天皇と国民の間を正統化していた神話が否定されたことで、かえって天皇と国民の間は法的・制度的関係などの「他人行儀」な関係ではなく、私人どうしの「信頼と敬愛」によって結ばれた人格的な関係であるという歴史が重視されるようになり、現在に至っています。それはまた、戦前におけるデモクラシーの在り方とも関係していました。無政府主義者・幸徳秋水や大正期を代表するデモクラットの吉野作造と代議制への批判者であった上杉慎吉、さらに戦後の中曾根康弘の共和主義思想までを分析し、日本にとって国体とは何か、デモクラシーとは何か。また、なぜそれが天皇と人民との人格どうしの法外の結びつきとして求められ続けなければならなかったのかを解明します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	国体とデモクラシー —密造される共和主義— 住友陽文 著	日本史（近現代）
	ご担当	四六判・ハードカバー、340ページ 本体価格 3,400円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-80-4 C1020	

ご注文は (株) JRC へ

FAX: 03-3294-2177

電話: 03-5283-2230

返品条件付注文です。